



全難聴便り

発行:事務局 〒162-0066
 東京都新宿区市谷台町 14-5 MSビル市ヶ谷台1F
 編集:全難聴事務局
 電話:03(3225)5600
 FAX:03(3354)0046
 URL:<http://www.zennancho.or.jp>
 E-Mail:zennacho@zennancho.or.jp

↑ 平成28年全難聴総会 (6月4日)

平成28年度通常総会は6月4日、41名の加盟協会代表が参加し開催されました。

第1号議案、平成27年度事業報告。第2号議案、平成27年度決算については、議事後、承認されました。そして、第3号議案の理事改選についても、議事ののち、信任投票を行い、19名の理事候補及び2名の監事が選任されました。



その後、臨時理事会にて代表理事及び常務理事の選出が行なわれ、加盟協会代表の皆様にご報告いたしました。

新たな理事会メンバーは以下のとおりです。

理事長	新谷 友良	東京都	副理事長	川場 充	岡山県
副理事長	佐野 昇	静岡県	副理事長	宮本 せつ子	熊本県
常務理事	湯浅 はるみ	香川県	常務理事	宿谷 辰夫	滋賀県
常務理事	瀬谷 和彦	みやぎ・せんだい	理事	内 惻	広島市
理事	神矢 徹石	北九州市	理事	黒田 和子	愛知県
理事	中川 良雄	堺市	理事	永井 慎吾	秋田県
理事	信木 章	山口県	理事	橋本 英憲	京都市
理事	藤原 稔之	島根県	理事	宇田川 芳江	東京都
理事	小川 光彦	東京都	理事	永末 淑子	福岡市
理事	吉野 弘規	東京都			
監事	田代 慶藏	三重県	監事	齋藤 正昭	茨城県

なお、機関誌部長は宮本理事、耳マーク部長は黒田理事、補聴・医療対策部長は中川理事、国際部部長は瀬谷理事、要約筆記部長は宇田川理事、情報文化部長は小川理事、高年部長は川場理事、女性部長は永末理事、青年部長は吉野理事が承認されました。

↑ 新理事抱負

理事長抱負

今回、理事長を継続させていただくことになりました。

これから2年間、皆さまと一緒に活動してまいりたいと思います。

今回の理事会構成は加盟協会代表者が13名、専門部長専任の理事6名という構成になっています。全難聴は地域加盟協会の連合体です。また、全国的な課題、専門分野の課題を処理するために専門部が設けられています。理事会に於きましてはこの点に意を置き、地域課題・専門部課題を超えて全難聴全体としてどのように活動すべきかを考えて参りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

新谷 友良

理事抱負

情報文化部担当の小川光彦です。10年ほど前から情報文化部員として活動しています。情報通信アクセシビリティ、参政権、防災、規格の標準化等が主な守備範囲です。認定補聴器技能者の卵でもあります。

全難聴理事としては通算3期目（26/27年度は部長のみ）です。活動は他に都の中難協、中野区中途失聴難聴者の会。仕事で図書館委託管理企業勤務。障害者サービス担当をしています。目下委託館に対する差別解消法の説明に追われています。

よろしくお願い申し上げます。

小川 光彦

滋賀県の宿谷です。全難聴の理事としては2期目となります。今まで要約筆記部を担当してきましたが、他の部と比較して要望や問い合わせ事項が多く注目度が高い事に驚きつつ、宇田川理事ほか部員さんと共に様々な事を学ばせていただきました。

今回も理事各位からご指導を賜りつつ、まだまだ働き盛りの世代ではあり仕事上の制約もありますが、皆様と心を一つにして難聴者・中途失聴者の明日のため邁進して参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。

宿谷 辰夫

愛知の黒田です。情報文化部、耳マーク部、要約筆記部に属して、各専門部でお世話になっている内に、理事就任も五期目となりました。全国規模の活動と地元の活動を両立させるには、パワーが要ることを痛感しています。パワーをアップさせてがんばります。なお、前部長の荒川さん（名難聴）から耳マーク部長を引き継ぎました。耳マーク部員を募集中です。立候補を歓迎します。

黒田 和子

このたび全難聴の理事に就任することになりました北九州市の神矢と申します。

ちょうど10年前に社会福祉士の資格を取得し、以来地域においてさまざまな社会資源と関わりながら、地域住民の福祉の向上に努めています。障害者差別解消法が施行されたことに伴い、難聴者に対する合理的配慮を求めていくとともに、難聴者の社会参加を推し進めながら、地域福祉の主体として難聴者が地域に対してどのようなことができるかを考えていきたいと思っております。

若輩で至らぬところも多々あると思いますが、2年間よろしくお願い致します。

神矢 徹石

広島市の内 惻です。「うち さとし」と申します。上の内はロツテに内という投手がいます。下の惻は戦前、惻憐という言葉が使われて「利口」の意味でした。その惻が私の名前です。あまり頭はよくありませんが、この度、図らずも理事に就任することとなって何卒よろしくお願い致します。

広島市で十年間ほど難聴者の福祉向上運動に携わった経験から、難聴者の福祉はとも他

の障害者、車椅子障害者とかろうあ者などと比べて後手に回っているのではと痛感します。ことに難聴者の情報保障の面において行政からなおざりにされているとの感じがします。

議会中継とか首長記者会見での要約筆記の保障、テレビ番組や国会中継、政見放送の字幕放送化、さらに他の公的あるいは私的な場での情報保障の実現、またUDトークの実用化と普及、さらに障害者補装具に難聴者対象としてタブレットの無償交付などの実現について微力ながら私なりに力を尽くしたいです。

内 惻

5年前女性部長に就任したときから、女性部の財源が乏しい中、責任を負って悩んできました。毎年、全難聴福祉大会で女性部バザーを開き、皆様からのご協力とご支援を感謝しています。理事は男性が多い中、少ない女性理事さん達としっかり手をつなぎ頑張りたいと思います。

永末淑子

先日アメリカで開催された IFHOH 第 10 回国際難聴者会議に出席しましたが、きこえの健康支援、アメリカでは国を挙げて積極的に推進しています。しかし、日本には日本に合った形があると思います。補聴医療対策部と連携して、世界に誇れる形をめざしていきます。

その他、アジア太平洋難聴者失聴者連盟との連携や支援活動にも関わっていきますので、ご指導をよろしくお願いいたします。

瀬谷 和彦

全難聴のために何ができるかを模索しつつ、青年部の代表であるということを念頭に置いて行動していきたいです。よろしく申し上げます。

吉野 弘規

要約筆記部長 3 年目に理事の重責も担うことになりました。地元東京で長い間要約筆記事業に関してきたなかで、私自身の要約筆記に対する意識も、「書いていただく」から、「権利擁護」と大きく変化してきました。

難聴者の要約筆記に対する熱い思いをひしひし感じつつ、全難聴としてどのように関わっていくのかという部分は、皆さんと議論しながら考えていきたいと思っています。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

宇田川芳江

副理事長をまた頑張ることになりました。機関誌部も継続することになります。原稿依頼の時は締め切りを是非とも守っていただければ助かります。頼りないおなごですが、またまた2年間のお付き合いをよろしくお願いいたします m(_ _)m。

宮本 せつ子

12 期 24 年間務め 13 期 25 年目となり、最古参となります。来期にはバトンを渡せるよう頑張りたいと思います。よろしく申し上げます。

佐野 昇

全難聴の仕事をするのは、法人化以前の広報部長以来30年ぶりです。今回が最後の奉公と思っていますが、これまで育てていただいた林元会長、入谷先生、藤原猛氏の遺志に報いるためにも微力を尽くす所存です。全難聴の原点である草の根の中途失聴・難聴者の生活向上ということを忘れないようにしたいと思います。

橋本 英憲

今年で2期目になります。1期目からずっと機関誌部の副部長をやらせてもらっています。他に、福祉大会担当、要約筆記部、耳マーク部の部員として入らせてもらっていますが、全難聴全体の運営の様子や組織の仕組みがわかってくるにつれて、全難聴理事の仕事は大変と実感しています。これからも一地域の難聴者としての立場から意見を言えるように がんばりたいと思います。よろしく申し上げます。

湯浅 はるみ

📌 理事の動き（6/1～6/30）

- 6月3日 第2回字幕ガイドライン標準化委員会（新谷）
- 6月4日 全難聴通常総会（理事、専門部長）
- 6月8日～12日 全国ろうあ者大会 in 徳島（湯浅）
- 6月10日 テクノエイド協会面談（川井）
- 6月17日 日本補聴器販売店協会総会（佐野）
- 6月17日 オリパラアクセシビリティ協議会当事者団体と事務局のワーキング会議（新谷）
- 6月18日～19日 全国要約筆記問題研究集会 in 大阪（新谷、宿谷、中川、田代）
- 6月21日～27日 国際難聴者会議（新谷、佐野、瀬谷、小川、齋藤、橋本）
- 6月23日 全聴情協施設大会（川場）
- 6月29日 JDF 幹事会（新谷）

📌 事務局報告

- 6月4日 全難聴通常総会
- 6月5日 桂文枝「字幕」落語会
- 6月6日 手話サークル玉城氏他来所・熊本地震義援金受領
- 6月10日 吉本新喜劇他字幕公演
- 6月17日 (株)CU 来所
- 6月30日 全難聴だより No. 97 発行

《予定》

- 7月1日 機関誌「難聴者の明日」172号発送
- 7月8日 JDF 権利条約推進委員会
- 7月12日 CS 障害者放送統一機構臨時総会・第66回理事会
- 7月15日 四団体連絡会
- 7月20日 第8期 MASC 総会
- 7月22日 中央本部事務局会議・拡大本部会議
- 7月25日 日本手話言語法、情報コミュニケーション法、読書バリアフリー法についての意見交換会
- 7月30日 全難聴だより No. 98 発行

参議院選挙に向けて

参議院選挙に向けて、中途失聴・難聴者の参政権保障を求める「選挙の要約筆記に関する要望書」を所轄省庁である総務省に提出しました。同要望書提出の経緯は、厚労省、主要活動政党にも報告いたしました。要望書は全難聴 HP「中央対策」に公開しました。

字幕公演について

吉本興業のマネージメント、配給を行う「よしもとクリエイティブ・エージェンシー」様より、字幕公演の難聴者向け対応のご案内がありました。内容は、「舶来寄席」という英語字幕、日本語字幕の公演です。

情報は全難聴事務局より関東圏の加盟協会の皆様に提供をしました。

6月10日東京グローブ座（新大久保）で行われた新喜劇公演の際、ステージ背景に、セリフを字幕で投影しましたが、画面左右より字幕が表示されますので、吉本興業様のご配慮で、客席中央列に聴覚障害者向けの席を用意していただきました。当日何名かの当事者の参加があったとのことでした。

これに先立ち、6月5日神保町花月で開催された「桂文枝〃字幕〃落語会」は落語に英語字幕、日本語字幕が表示されることもあり、大盛況でチケットは完売でしたが、こちらもご配慮をいただき、難聴者が数名観覧しました。事務局より林職員が両公演を体験しました。次回は関西圏での公演を目指す予定とのことでした。